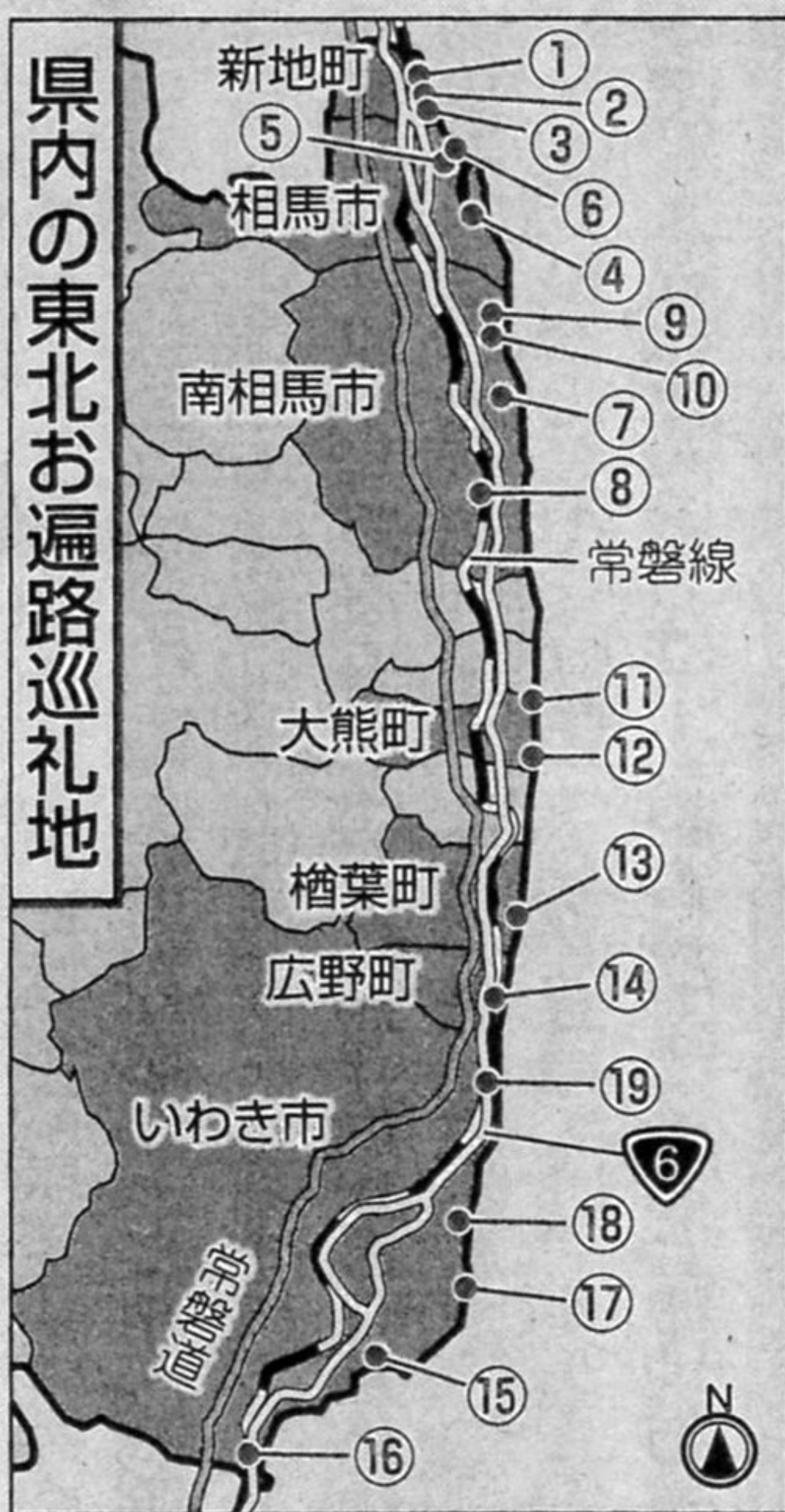


巡礼地に「第1原発」や「一本松」

東北お遍路 被災53カ所

東日本大震災の被災地を四国遍路のように巡る取り組みを進める一般社団法人「東北お遍路プロジェクト」(仙台市)は4日、本県と青森、岩手、宮城各県で巡礼地を選び、本県の東京電力福島第1原発や岩手県陸前高田市で津波に唯一耐えた「奇跡の一本松」など計



県内の東北お遍路巡礼地

県内の巡礼地次の通り(白抜き数字は地図上の番号)

- 新地町 ①龍昌寺 ②安波津野神社 ③大戸観音堂▽相馬市
 ④稲荷神社(寄木神社) ⑤松川浦 ⑥津神社▽南相馬市
 ⑦北萱浜神社 ⑧相馬小高神社 ⑨山田神社 ⑩御刀(みと)神社▽大熊町 ⑪福島第1原発 ⑫熊川海水浴場▽榎葉町 ⑬天神岬公園(津波防災対策ビューポイント)▽広野町 ⑭修行院▽いわき市 ⑮アクアマリンパーク ⑯勿来記憶の広場 ⑰塩屋埼灯台と薄磯・豊間海水浴場 ⑱道山林 ⑲稲荷神社

53カ所を発表した。

同法人は巡礼者を呼び込んで慰霊、伝承を続けてもらうことを目的に2012年2月ごろ、住民らから募集を始め、約100カ所を候補として選定。「千年残したい物語性がある」ことなどを条件に、有識者らが絞り込んだ。

福島第1原発は現在、近づけないが、時間の経過とともに道が開き、宿などが開業することを期待したという。新妻香織共同代表(54)は「祈りの道がつながり、記憶が千年先まで続く

ことを願っている」と話した。決定した巡礼地はほかに、屋上に逃げた児童らが津波から助かった宮城県山元町の町立中浜小学校や、被害に遭いながら観光地として再開した青森県八戸市の蕪鳴神社など。

核のごみ最終処分地原子力委で選定評価 経済産業省は4日、原発から出る高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定の在り方を検討する作業部会を開き、選定過程が適切かどうかを第三者的視点で評価する役割を国の原子力委員会に委ねる方針を決めた。有識者の委員からは原子

ふるさと祭

原発避難区域の祭り人

大熊の熊川稚児鹿舞

黒い獅子頭に、鹿の角を思